

菅家 奈津子

かんけ なつこ

声楽（メゾ・ソプラノ）

東京都出身 神奈川県在住

【所属マネジメント】

公益財団法人日本オペラ振興会

住所：〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-5-8
西新宿豊国ビル 102

TEL：03-6721-0995 FAX：03-6721-0997

担当：大沼 久男、菅 若菜、飯田 弥来

E-mail：suga@jof.or.jp



やってみたいアクティビティとコンサート

「音楽の力」と題し、音楽が持っている素晴らしい力を「発見・想像」するアクティビティと、音楽が持っている素晴らしい力による「発見・想像」を行っています。

幼稚園児には幼稚園児の「発見・想像」、子どもたちには子どもたちの「発見・想像」、

ご高齢の方にはご高齢の方の「発見・想像」・・・様々です。

アクティビティ後にも何か、心の中に「発見・想像」が生まれてくるきっかけになるかと思っています。「発見・想像」をすることは、心の健康・身体の健康に必ず結びつきます。

また、「メッセージのあるアクティビティ」を考えています。

障害者学級のアクティビティを行い感じましたことは、非常に敏感であり非常にストレートです。その敏感さやストレートさをマイナスではなく、とても素晴らしいものとして互いに感じ合えた時に、障害者の皆さんと一つになれる。

コンサートは、事前アクティビティなどで一緒に練習した曲などを一緒にさせていただける曲などがありましたら、何かを一緒に作り上げる！という楽しみも増えます。

自己PR

地域創造のプロデューサーの方に「菅家さんの歌を聴く時間は、聴き手が自分の心とコミュニケーションがとれる時間」というお言葉をいただきました。

演奏家といたしまして非常に嬉しいことです。

メゾ・ソプラノという深みのある声と声の響き、「人が好き」という性分を武器に、皆様の心へ訪れたいと思います。

PROFILE

国立音楽大学首席卒業。同大学院修了。在学中、大学の海外派遣生としてイタリア・レスピーギ音楽院セミナー参加。修了演奏会出演。読売新人演奏会、桃華楽堂（皇后陛下主催演奏会・皇居内）をはじめとする数多くの演奏会に出演。1999年にソプラノからメゾ・ソプラノに転向。2002年藤原歌劇団公演「椿姫」のアンニーナで藤原歌劇団にデビュー。同年、藤原歌劇団公演「蝶々夫人」（チョン・ミョンフン指揮）ケイトで新国立劇場デビュー。その他多数のオペラに出演。中でも「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントゥツァ役では「非常に音楽的に歌い上げ、サントゥツァの心情を細かく表現していた」と、高評を得る。

コンサートソリストとしても非常に定評があり、ヴェルディ「レクイエム」（東京交響楽団）では高い評価を得た。ラインベルガー「レクイエム」（本邦初演）、バッハ「口短調ミサ」、ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」をはじめとするその他多くのオラトリオソリス

トとしても高い評価を得ている。「第九」では、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団等をはじめとする多くのオーケストラと共演。

2000年にはイスラエル、アメリカ（ボストン）でのコンサートでは深みのある声と音楽に高評を得る。2006年には、奈良・東大寺大仏殿「万国戦没者慰霊法要」で奉納演奏を行い、オランダ領事館にお誉めの言葉を頂くなど高評を得た。

指導をして17年になる女声コーラス、7年になる高齢者総合福祉施設でのコーラスなどの合唱指導に加え、学生の頃から障害者の施設訪問コンサートやホールコンサートも行ってきたことから、現在は障害者支援事業にも加わり、多くの人に「音楽」に触れて欲しいと演奏活動以外にも積極的に取り組んでいる。

藤原歌劇団団員。日本演奏連盟会員。

<http://www.natsuko-kanke.com>